広報 南国

編集発行
南国市広報委員会
電話（代表451番）
印刷所
川北印刷KK

広報は……
……みんな
読むもの……
……つくるもの

下水道の完備など

婦人教育の振興をうったう

婦人模擬議会

市政を台所に

南国市の連合婦人会＝会長岡林政衛さん＝では、婦人の地位の向上と、市政の学習をかねて二月十四日午前十時から、市役所会議室で、県下で初めてといわれる婦人だけの第一回模擬市議会を開らいた。

この模擬議会は、市政が末端地域にゆきとどかないきらいがあるという批判などもあり、市政研究の一コマにもなるし、婦人の声を充分市政に反映さすために、市の執行部に婦人の意見や、主張などを身近かにきいてもらうために行ったもの。

当日は、執行部に、池川市長をはじめ、各課長、関係機関の長なども出席し、通常行なわれている市議会そのままを模し、議員定数に準じて、各地区から推薦されたものから三十人を選らびだして模擬議員としたもので、実力かね備えた代表であった。

この模擬議会の議長には、あらかじめ、岡林政衛さんを決め、七日の臨時市議会を傍聴、関係法令や、議会規則を十二分に勉強するなど、熱心に準備を整えて行なわれただけあって、スムースに議事運行がなされ、市の執行部に対して産業、教育をはじめ市政全般について、するどい質問と追及をあびせるなど、婦人からみた市政の盲点をつき、執行部をまごつかした。

質問のあった主なものは、次のとをり。

☆北部中学校の統合通学区の再編成などの学校教育。

☆本年三月までに設置しなければならない社会教育主事の任命。

☆史蹟や、文化財の保護と観光計画。

☆無医地区えの巡回診療や南部地区に下水道の設置など、環境衛生の強化。

☆道路行政と市道の改修。

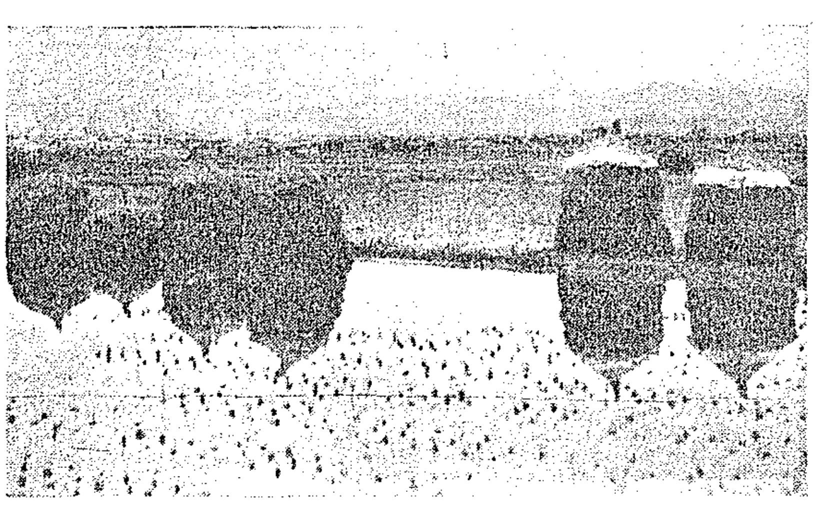
☆市有林の管理と林業技術指導員の設置。

☆国保税や、市民税などの課税、徴収などの疑問点など、やはり生活に密接なことがらが多く、活発な質問戦（？）を展開した。

なお、議案として提案された。＝「婦人会館の建設について」＝の議案は、再建途上の現在時期尚早とする反対意見もあり、賛否両論に分かれ討議されたものの、採決の結果、多数の同意により原案通り可決される。一幕もあり婦人議員にとっては最良の一日であった。

本号の主な記事

（一面）
△下水道の完備＝婦人模擬議会
△補助取水池を設置……
（二面）
△市民の声……
△石灰山に春が来た……
△年金ポスト……
（三面）
△市内あちこち……
△90年を過ぎた戸籍制度……
（四面）
△選挙よもやま話―青年と選挙
△綜合堰と茂久川……



……早春の野ずら……

教育委員の選任は 本月二十日か

＝し尿処理組合は継続審議＝

南国市の臨時市議会は、去る七日午前十時から開らかれ、香長し尿処理組合の設立、教育長の退職手当て支給条例などの五議案と、市長専決処分の報告二件、計七件につき提案理由の説明と報告があり、財政再建計画の変更など三議案をいずれも原案どをり可決し、報告二件は承認された。

しかし、香長し尿処理組合の設立と、市道認定の二議案は、それぞれ委員会付託となり、継続審議されることになった。

なお、当日は、十二月末に辞任した岡教育長の後任を選出することになっていたものの、人選難のため日程から除き、来る二十日に改めて審議されることになっている。

また、香長し尿処理組合は、南国市と、香美郡八ケ町村の、一部事務組合によって、し尿処理場をつくり、関係市町村のし尿処理を行うもので、設立するには関係市町村の議決が必要であり、他の町村では、ほとんど議決されている。

このし尿処理場の予定地については、数ケ所検討され、土佐山田町戸板島の線がいまのところ強いようである。

専決処分の報告は、一般予算（追加額一千二百十二万三千円、累計四億九千九百七十一万八千円）と、上水道特別会計予算（追加額四十七万円、累計七百九万二千円）で、それぞれ追加された。

渇水に備えて 補助取水池を設置

＝市の西島簡易水道＝

市の中心である後免、東崎、野中地区に給水している西島の簡易水道は、設置以来給水戸数の増加などにより、毎年冬の渇水期になって末端地区への給水は、現在の取水量では満足にできない状態にあるため、こんど現在の西島取水池のすぐそばへ補助取水池を設置し、末端地区の不満、不平を解消することになった。

なお、現在の簡易水道では今後の給水戸数の増加によっては、まかないきれないことも予想され、上水道も根本的な改善策をせまられてきている。

職組役員決定

南国市職員組合ではこのほど役員選挙を行い、開票の結果、次の通り三十七年度の役員を決めた。なお、新役員の任期は、四月から。

組合長 大郎田勝（再）
副組合長 沢村泰誠（再）
同 浜田静枝（再）
会計 東村達夫（再）
執行委員 高芝和男、吉永明、西村健、池本勝爾、溝淵康己、金堂一三、国沢栄造、徳橋壽世久、斎藤泰子

国沢氏を教育長に互選

市教委では、十三日の委員会により、国沢正壽氏を教育長に選任した。

南国市柔道大会

2月25日

主催 南国市

「参加規定」

▽出場資格＝高知市以東に在住するもの。

▽個人戦＝初段と、段外の部の二部制による。

▽団体戦＝初段一、段外二、計三人ただし、一所属一チームに限る。（初段のいないときは、段外者のみで編成することができる。）

会場＝後免野田小学校

日時＝二月二十五日 午後一時
「締切日」 二月二十日
「申込先」 南国市教育委員会

東崎の市営住宅 ようやく完成

市が三十三年度地方改善事業として、国庫補助二百三十五万八千円、県費補助六十五万円を受け、総工費五百九十九万円で建築をしていた東崎の市営住宅は、着工以来いろいろの支障があって、十ケ月後の昨年末に完成した。

こんど建てられた市営住宅は、いづれも木造平屋建て十五戸で、一戸の面積は二十八平方米。二戸一棟と、一戸一棟の二つの様式により建築された。

なお、この市営住宅えの入居対象者は、野中地区に在住するものに限定されてをり、まだ入居者は決定していなく、近かく決められる予定である。

山田堰の川干は 3月1日から9日まで

恒例の山田堰井筋の水留（川干）は、昨年より十日おそい三月一日午前四時（取水停止）から、九日午前十時（取水開始）までの予定で実施される。

昨年までは、次第に繰り上げられていたが、今年から適期に戻したので、水留期間はやむを得ない事情のないかぎり、日延や、短縮もされないことになっている。これにつき、山田堰組合では、井筋など、水留期間に工事を行う方は、期間内に工事を終るよう、事前にその計画と準備することを強く望んでいる。

ネギどころ岩

岩地区は、市内切ってのネギどころ。寒風が吹きすさむと、味が乗ってシーズンとなり、毎日のように一家総がかりで品ごしらえ。洗うのはほとんど婦人でゴム長をはき水路にはいって洗い上げ、翌朝で主人たちが後免の市場に出荷し、現金収入の一つにしている。＝写真はネギの水洗い。

団体は長岡チーム

第12回楠瀬杯卓球大会

第12回楠瀬杯（協和農機社長楠瀬慶吉氏寄贈）卓球大会は、二月四日三和公民館で行なはれた。

当日の参加チームは六チーム、二十四人の選手により優勝杯を争った結果、楠瀬杯は、土佐山田町の藤城志都男君のものとなった。

なお、その成績は次のとおり。

団体戦 一位長岡チーム、二位三和学生、三位南国民青
個人戦 一位藤城志都男、二位竹村直士（里改田）三位竹村一夫（南三島）

工業技術移住職業訓練生の募集

国際交流の一環として、工業技術の援助、協力を目的とする移住職業訓練生を、次の要領により募集している。

一、募集訓練の職種
1、機械士（旋盤、フライス盤、ボール盤）
2、仕上工（治工具仕上工、金型仕上工、機械組立工）
◉訓練期間＝六カ月

二、応募資格
1、義務教育修了以上の学力を有する者で、実務経験三年以上の技能を有するもの。
2、永住の目的で移住を希望するもの。
3、その他。

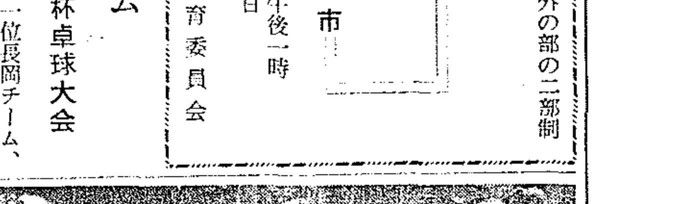
三、申込方法
提出するもの＝願書、健康診断書、写真添付、
申込場所＝公共職業安定所
申込締切＝二月二十八日
その他＝授業料無料 教材工具は貸与

詳細については、市産業経済課へ。

稚うなぎの無許可採捕に警告

全長二十一センチ以下のウナギについては、水産資源の繁殖保護上から、県規則で、知事の特別採捕の許可を受けない限り、採捕することも、所持または販売することも出来ません。ところが、市内の各所でウナギの稚魚（ノボリコを含む）を無許可で採捕している者が、相当数にのぼっているといわれている。

これらの行為は、規則違反となり、六カ月以下の懲役、一万円以下の罰金など、あるいは、拘留、科料などの罰則を適用されるので、規則違反をしないよう注意すべきである。



……道路に物を置いたり、無計画に駐車するのはやめましょう。……高知署では、さきに実に厳重な取り締まりをしました。南国署でも同様な方針をたて、指導しても改めなければ検挙するそうです。

こだま

「クサ」い話で恐れいるが、し尿処理問題はいろいろなやみのあるものだ。山の谷間にコガネ花咲く季節もあって、「クサ」い谷間とばけてごじゃるし、国道近くの田園にも、ときならぬ匂いを乗れたまうこともある。▼これみな人工のなせるたまものと、うれしく思っている次第、げに田園都市にはふさはしい風物詩といえよう。▼むかし農家になくてならないこの肥料源も、いまでは売るに売れないしろものとあって、世に多き製造業者たるものはその始末に、困り果てているこのごろである。▼小さい事でもめていても、し尿処理場の建設は、やはり急を要することの一つとなっている。一日といえどもこの工場の生産停止はできないからである。市民は潤滑に処理できるよう鼻にフタして、その日の来るのをまっている。▼婦人の声を市政にと、台所ならぬ議場で大活躍、シトヤカナ本物議員顔負の婦人模擬議会の開らかれたのはたのもしい。▲男性への日頃のうつぷんもどこえやら、堂々と論陣を張る偽議員に声援しきり、一騎当千のつわものどもと、自負する執行部の面々も、しばしたじろぐ程の意気込み、研究不足とはいはれぬように、議員諸公もガンバッてもらいたいものだネ。とはカゲの声。▼男女同権といはれる世の中だ、せめて二年足らずにひかえた次期選挙には、偽物でない、正真正銘の女性議員の出現をのぞむことは、あながち無理な相談でもあるまい。今日のこの日をかみしめて、婦人の旗を高くかかげよ、台所と市政を直結する上からも、是非とも考えてもらいたい課題でもあるし、六千数百の婦人たちの使命でもある。▲教育長の椅子は、空席のままはや一カ月余り、その空席を虎視たんたんとして、うかがう自薦他薦の名が世上に流れる。娘一人のタグいはうるさいものだ、といっていつまでも欠員でおくことのないよう、はやく結末をつけてもらいたい。

市民の声

市当局や議会、または個人同士の攻撃にならぬご意見をおよせ下さい。
締切り＝毎月二十日
宛先き＝市役所内広報係

みだれ酒

酒呑みとは、長酒呑むため腰重く、度重なり、家庭不和。酔う程に元気を増し梯子酒、時にはけんかして他人に迷惑をかけ、三面記事にのることもある。

寒風吹きすさぶ頃、家路を急ぐ酒族を招く酒・誘う酒・酒は愉快にハラへ呑むもの、頭へ呑むと酒程恐いものはない。

丸い卵も切りよで四角。酒も呑みよで悲劇を生み、罪を犯す因になることは過去の事実が示す通り。

トラ法の関係か、酔って警察をひやかす常連は減ったが、日頃温和しい人が酒に呑まれて暴れ、揚句の果てには、無銭宿泊で一夜を明かすことがあります。

この酒族の妙薬は、大トラぶりを録音しておき、翌朝家族と一緒にお聞き願ったらと思います。

酒呑みが生んだ悲劇などあげてみましょう。

私が某署で勤務中、窃盗のある少年を補導した際、少年は、ひもじいから盗るというのです。

家庭環境を調べると、父は仕事をするが大酒呑み、妻には米代も満足に与えない無軌道ぶりで、少年のひもじい原因もわかりました。

十二才を頭に、三人の小学生と幼児もあり。夜中に連絡があって行って見ると、子供たちは寒空に抱をかかえてふるえていたことも度々でした。

そのうち母と少年ら三人共、救い難い非行を重ねるようになりました。

暮れもおし迫った宿直の午前三時頃。髪はみだれ、青い顔した中年の婦人が、ぼかっとはいってきて「主人が死にました」と一言、その場に泣き伏しました。現場に急行して見ますと、土間に倒れた主人の首にはタオルが巻きつけられていました。

この主人も大酒呑みで、その日の稼ぎは殆ど呑んでしまい、生活費は渡さず、呑んで帰ると、着のみ着のまま倒れた所で朝まで寝るという状態が続いていたので、たまりかねたお母さんが手がけたものでした。

親子五人、平和に暮していた家庭で起った悲劇は最近のこと。ある日母親は酒呑み男の手にかかって殺されました。

神ならぬ身の知る由もない子供らは、学校から帰ったとたん、変り果てた母の姿に驚き、屍体にすがって泣き叫ぶ光景、見るにしのびない現場に直面するたびに、酒の恐ろしさをしみじみ感じます。酒に酔い、満員電車、バス内で、婦女子に対し変な行動に出る。不らちな酒族もいます。

私が補えた中には、相当教養のある年配もあって驚いたことでした。

感受性、模倣性の強い子供達は、大人の短所も見習いますから、大人達は補導の先生であってもらいたいものです。

酔って帰り、家族と争ったり、他人の悪口などをいう人はありませんか？眠っている筈の子供らは、ちゃんときいていますよ。

適量の酒は百薬の長とか、百害あって一利なしともいわれる酒ですからみだれ酒を慎しみお互いに呑まれないよう自制しようではありませんか。

南国署少年係

道路はこれでよいか

私の住む地区でも天下の公道に物を置いたり、仕事をしたりして交通の防害になっているのを体験するが、中心部の後免方面に出てみるとまたひどい。路面をいつも作業場にしているものがある。

昨年、新聞によると警察も徹底的に取締まるといっていたが、なぜいうように取締まらぬか。

春秋の交通安全運動で鳴り物入りで呼びかけるだけでは何にもならぬ。

そのために警察があり、交通安全協会があるのではないか。天下の公道は、常に守るべきである。

（久礼田生）

科学　永遠に生きれる

人間誰でもがいつまでも若く、いつまでも生きていたいと思うが、人生八十年も生きればよいほうである。八十年といえば長いような気がするが、八十才の人にきけばほんの一っしゅんの様な気がするらしい。八十年といえども一秒一秒、一分一分の積み重ねである。時計の秒針が廻るにつれて自分に与えられた生命を消費しているわけである。こう考えると時間は実に貴重である。あだやおろそかにできるものでない。若し何らかの方法で時計の止まる世界に即ち時間のたたない世界に住めないだろうか。そうすれば永遠に生きれるわけである。時間とは永遠のかなたから永遠のかなたへ流れるものだと考えてみると（厳密に正確でないかもしれないが）、この流れに逆らうと時間がたち、この流れに乗れば時間がたたないと思われる。例えば川の流れに水車を置けば水車は廻りだす。又この水車を水の流れにそって流せば水車は全然廻らなくなる。水の流れは時間であり水車は時計であると考えてみてはどうだろう。我々は時間の流れに乗っていないから年をとって死ぬのである。ここまでわかれば永遠に生きる方法に一歩近づいたことになる。この方法がないだろうか？　ありがたいことにはその方法はある。光の速さに乗ることである。光の速さは一秒間三十万粁である。アインシュタインが相対性原理論によると時間がたたないことになっている。然し誰も乗ったものはまだ一人もいない。最近ドイツのロケット学者が光子ロケットの理論を発表している。若しこのロケットが完成すればこのロケットは殆ど光の速さに必適する速さで飛ぶことができる。このロケットに乗れば月や火星は近すぎて困る。はるか遠くの天体へ飛んで行けることになる。しかも時間がたたないから、地球を出発して四百年も五百年も地球時間でかかって宇宙を旅行して帰っても、出発したときと同じ若さで帰ってくることができる。このありがたい理論はすでにわかっている。ただロケットに乗ればよいのだ。

鉄窄（ロケット）

それをたづねて①　石灰山に春が来た
四国鉱発白木谷鉱山

広報では、市内の要所、要点を紹介することになり、一月二十七日の午後、北山おろしの寒風を突いて、広報委員の一行は、道のエクボにむかえられて、白木谷にある四国鉱発KK白木谷鉱山をたづね、その第一番手のメスをいれてみた。

市の北部資源である石灰原石の採掘は、国見山、瓶岩、関西、四国鉱発など数社の手により行こなわれている。

なかでも四国鉱発は、親会社入交産業の持ち山の一部を採掘しており、市内随一の鉱山である。

同社は、鉱石の開発と販売を目的に一昨年（35年）の一月に設立し、本社は高知市の入交産業にある。資本金は一億円、同社の鉱山は白木谷鉱山のみで、その鉱区は六、二四〇アール、埋蔵量七、六〇〇万ﾄﾝ（採掘可能量四、二〇〇万ﾄﾝ）と見込まれている。

鉱山の従業員は、職員を含めて六十名余り（地元民八〇%）で、月産、二万～三万ﾄﾝ、将来は十万ﾄﾝの目標だという。原石は現在トラック十五、六台で、高知港へ一日五回の往復で輸送されている。

二億円で隧道を　ガンは悪路と地元保償

しかしなんといっても、道路の悪いことがガンで、いままで道路補修に一千万円以上投資したという。

そこで同社では、高知市一宮へ直線で結ぶ隧道（四キロ）を抜く計画を立て、二億円の経費を見込んでいる。これが完成すれば輸送距離の短縮となり、笠の川からの県道改修に要する経費一億円よりも、輸送量と、輸送費からいって結局安くなるという。

重くて安い石灰石

原石は主として製鋼関係に向けられ、大阪渡しでﾄﾝ当り千円といわれ、その大半は輸送費になるため、量でカバーしているという。

鉱山は、すべて近代的で、千二百万円という粉砕機を始め、各種の機械設備がなされ、流れ作業により行こなわれている。

一時間三百トンの流れ作業

原石の採掘は、山の下に堀られた抗道（二百㍍）に、中腹から掘り下げられた直径四㍍の竪抗がそれに通じている。

その竪抗の上部の周囲をスリ鉢式に採掘し、原石を竪抗に落し込むという鉱法で、抗道内で竪抗から直接十二輌のトロッコに積み、機関車によって、上部タンク（四百ﾄﾝ入り）にはこばれている。

そこからは全部機械により処理され、上部、下部の二つの粉砕機で粉砕され、水洗と同時にいろいろの大きさに分類され、積載用タンク（全部で千二百ﾄﾝ）におくり込まれ、トラックでの搬出を待っている。

これらの機械は、一時間三百ﾄﾝの原石を処理しており、ゴウゴウという騒音は、その山間にみちている。

このための地元保償金（約七戸）は、五十万円、いままで、別な面での地元保償金も相当額にのぼるという。

この鉱山の設備は、三十五年八月から始り、翌年の二月に竣工したもので、山の寿命は五十年とみられている。

しかし、その東には親会社の石灰山が、深い眠りのなかにあるから、まだまだ長くつづくことだろう。

事故防止の心得
鉄道線路を歩道にするな

国鉄では、列車増発に、スピードアップの実施と、輸送の近代化をはかるため、土讃線にディーゼルカーを配置したが、このディーゼルカーは軽快な反面、従来の蒸気列車にくらべ非常に軽量で、ささいな障害でも脱線、または転ぶくという重大事故を招くおそれがある。また、速度も速く、その上運転音が低いため列車の近づいたことがわからず、これにはねられて、尊い人命を一瞬に失うという悲惨な事故も、全国では毎日発生している。

このような事故を防止するには、線路や、鉄橋を絶対通らないことで、とくに朝夕の通勤、通学の際の近道に、線路上を通行する者はあとを絶たないが、もし進行中危険と認めて列車を止めたときは、損害賠償をしなければならないと定められている。

一寸した近道のために尊い生命や、財産を失うことのないよう、今後絶対に線路内を通行しないよう、国鉄ではのぞんでいる。

年金ポスト
改正された福祉年金

◎死亡しても年金が受けられます

福祉年金を受けていたものの死亡について従来は、支給月の六日すぎまで生存していないと、受けることができず、国へ返していましたが、今度の改正で、死亡すれば次の遺族に未支給金を支給されることになりました。

受給者の死亡の場合に戸籍係への届出とともに、年金係にも未支給金の請求をする必要があります。

一、支給の範囲
配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹

二、支給条件
死亡者と生計をともにしていること。
同居してなくても、仕送りを受けていた場合は、異例として請求できます。

三、手続に必要なもの
戸籍抄本、住民票謄本、年金証書、印鑑など

◎制限の緩和と所得加算額の改正

母子福祉年金の支給

一、従来は、母子福祉年金を受ける条件をそなえていても、二十五才以上の子と同一生計の場合は、支給制限を受けていましたところ、改正により、解除されました。

二、義務教育終了前の子、一人につき一万五千円の加算額は、三万円に引き引下げられました。この結果、子一人の場合は十六万円、二人の場合は十九万円を超えないかぎり支給停止にはなりません

◎準母子年金の制定

今度新らしく制定されたもので、支給条件などはすべて母子年金と同じです。しかし配偶者のいない祖母、または姉が、孫または弟妹を養っているときは支給されます。

詳細は、年金係でおきき下さい。

◎一二三月分保険料の納入について

市では、国民年金保険料の一、二、三月分検認を近く実施します。

二月分までの保険料をまだ納めていない方は、二月末日までに、三月分保険料は三月十五日までに、必ず地区農協（後免町は商工会）へ納入して下さい。

なお、保険料の納付が困難な方については、年金手帳を添えて至急免除の申請をして下さい。

今すぐ申請すれば、昨年四月分へさかのぼり免除を受けることが出来、滞納とはなりません。

保険料を納めもせず、免除の申請もしていないと、保険料の滞納となり、年金の保障はなく、老令年金はもとより若し、事故があっても母子年金、障害年金なども支給されません。

税務課だより

固定資産の異動申告

37年度の固定資産税は、四月に課税されます。

そこで納税義務者の中で、納税管理人の設定、異動、または家屋の取毀しなど、昨年中に異動のあったものについては、その旨申告しなければなりません。

未納税金は早く納めよう

36年度分の市税の納期は、一月末で全部納期を過ぎました。

市税を滞納すると、督促手数料や、税額と、日数に応じた延滞金や延滞加算金など、税額以外のものまで余分に納めなければなりません。

明日とはいわず、いますぐ市金庫か、最寄りの支金庫（農協）に納めて下さい。

県市民税は申告制度に

税法の改正により、本年度から課税される県市民税については、申告の義務ができました。

申告しないと、いろんな控除をうけられません。申告の期限は、三月二十日までです。

なお、十二月号でお知らせした事項の一部に誤植があったので

一、県市民税について
生命保険料控除
前年中に支払った保険料最高、二万二千五百円。
扶養控除
○第一人目＝七万円
（ただし、配偶者に五万円以上の所得があるときは五万円）
○第二人目　以下一人につき＝三万円
と訂正します。

なお、詳細については市税務課、または、県税事務所へお問合せ下さい。

☆建築確認申請書作成代行
☆住宅公庫申込、設計施工監理
☆土地家屋調査、保存登記
建築計画・設計施工・監理・登記
☆土地家屋測量、青写真焼付
☆各種コンクリート工事設計施工
☆其の他一般建築設計施工監理
後免町西町登記所前
中村建築士事務所

県外本場の
ヒヨコ
卸値直売
森山種鶏場
南国市大埇（山崎）電話４７５番

??広報お年玉クイズ??

正解は二通
岡田 植野さんに千五百円贈呈

みなさまにおくった広報お年玉クイズの応募数は、二百九十七通で、正解文に合致した解答文は二通あった。このクイズの穴は、25のタテと27のヨコのかぎで、「ヒト、コト」、「カン、キメ、ユメ」などが多かった。また、浜田勇子（物部）さんは折角く穴を解いていたのに、解答文に⑪のヨコのかぎを記載してなく、残念ながら落ちました。正解者の二名の方に、賞金を等分し千五百円を贈呈。

正解者
岡田美紀　立田五九四
植野　瞭　上末松一七八

ヨコのかぎ

①二代目市長は、――④良くても悪くても、コレにノります。⑦カイツブリの別名。⑨――局で、年中無休の公共事業ですヨ、⑩男が他家に入いり込むこと、⑬苦しく、酷なこと。⑭小さな川です。⑯イネのこと。⑱物価が高くてクルシイですヨ、池田さん。⑰小さいのも、大きいのもありますヨ。⑳浦島太郎は、玉手――㉒どう転んでも自分よりは目上ですヨ㉓これを通す人もいる。㉔背よりもこいですヨ。㉖人は、コレを知らなければいけない。㉗コしがよいのはみていて気持がよい。㉘いえば兄弟みたいなものですヨ。

タテのかぎ

②コレが多いと、倒産ですヨ、ご用心。③動物です。⑤えらい人の前などでは、たいがいの人が恐れて小さくなりますネ。⑥寝て待つことにしようカナ。⑧恋は恋でも……。⑪一方では、高い方が、一方では安い方がよいといっている。そのものズバリ。⑫市内の工場で、作られている農機具です。⑮人生行路には、何時もこれが必要。⑯モナコでは公認の場所です。⑰馬とウサギ馬との混血児。⑲やはりコレがあるとしよいですネ。㉔――馬にけられて死ねばよい。㉒彼と彼女のささやきは。㉔甘いものですヨ。㉕金を出すには、――を見定めて出しましょう。

■	1イ	2ケ	ガ	ワ	■	3リ	4ス	ト
6カ	■	ツ	■	7ニ	8オ	■	ク	■
9ホ	ウ	ソ	ウ	■	10イ	11リ	ム	12コ
ウ	■	ン	■	13ソ	ラ	シ	■	ウ
■	14オ	ガ	15ワ	■	ク	■	16ト	ウ
17ラ	■	18ク	ラ	シ	■	19カ	バ	ン
20バ	21コ	■	イ	■	22ア	ネ	■	キ
■	23イ	ジ	■	24ア	イ	■	25シ	■
26ハ	ジ	■	27ミ	メ	■	28イ	ト	コ

90年を過ぎた戸籍制度 3

二、戸籍の意義と使命

戸籍は近代的国家においては勿論それ以前の時代においても、為政者にとっては重要な制度であった。

戸籍の持つ意義と使命は、時代の推移によって、変遷しているが、その根本は時の古今を問わず政治に深い関係のあったことは否定できない。しかし現在、戸籍の所在である本籍が、人の生活の本拠である住所と遊離したことにより、その目的も変更され、政治的使命は第二義的となっている。

戸籍は、人の身分関係を登録公証する公文書であって、いまでは、主として身分公証の使命を持っている。すなはち、人の出生から死亡に至るまでの身分上の出来事がこれに記載される。

壬申戸籍は、各人をその居住の地について収めたものであって、盗賊浮浪の取り締まり、徴税の資料、賦役、徴兵の資料などの行政目的の公文書であったが、明治以降の交通の発達や、経済生活の変せんに伴い、本籍を離れて他の土地に居住するものが多くなり、住所と本籍とは次第に一致しないようになった。

そこで、従来の戸籍が併有していた居住関係を公認する機能は、昭和二十七年に施行された住民登録法による住民票に移して肩代わりさせ、戸籍は、もっぱら人の身分関係を公証する使命を持つものに純化された。

すなわち、親、子、夫および妻という身分上の地位は、戸籍によって明らかにされ、かつ、身分に伴って生ずる権利義務（たとえば、親権者、遺産の相続人、遺族年金受給権者、または扶養義務者など）は、原則として戸籍によって証明される。なお副次的に、人口動態統計の資料、戸籍の附票と相まって、住民票の正確性の担保、日本国籍の証明などの機能も営んでいる。

（未完）

生活と電気

冬期の電気災害を防ぎましょう

その一　電気暖房器具

“こたつ”や“あんか”など、電気暖房器具は、便利で衛生的にも大へん優れているので広く普及していますが、電気出火防止の安全装置として、自動温度調節器（サーモスタット）と、温度ヒューズ（過熱を防ぐため摂氏百十度で切れる）がついています。

電気暖房器具が故障を起こして修理をするときには、つぎの点に注意しましょう。

(1)自動温度調節器は、専門家以外はいじらないこと。

(2)温度ヒューズが切れたときは、必ず温度ヒューズを入れ、間違っても安全器にいれる電流ヒューズや、針金などを使わないこと。

(3)温度ヒューズが二度、三度と切れるときは、温度調節期の故障していることが多いので、四国電力が最寄りの電気店へ修理をたのむこと。

その二　切れたり、たれさがったりした電線には、絶対にさわらないようにしましょう。

降雪期になりました。電線のうえに雪が積り、その重さで電線が切れることがたびたび起こります。雪は絶縁体（電気を通しにくいもの）なので、電線が切れて地に落ちても、電気が停まらずにいることが多く、大へん危険です。切れたり、たれさがったりした電線をみかけたら、絶対にさわらないで、すぐ最寄の電力会社へお知らせください。降雪時には特に注意いたしましょう。

“土佐のふるさと”を描いた『国府村誌』

乾　常美

今から十年前の昭和二十六年五月、私は当時発行されていた『国府広報』へ、「伝承について」という一文を草したことがある。それは、故高村晴義氏著の『国府村誌』を読んで、大いに感銘を受け、伝承の尊さを身にしみて覚えたためであったが、いまここに、十年の才月を経て、新らしく発行された『国府村史』に接するに及んで、感慨またひとしおのものがある。十年前、私はこう書いた。

“高村氏は実に克明に村の風習慣習を調べ、史実を挙げ史伝をつたえ、過去から現在につながる村の文化的系図を余すところなく描いている。得難い文献であり尊い伝承の精神である。新村博士の『辞苑』によれば、伝承とは伝えうけることであり、社会進化の過程において、前時代の文化的遺産を次の時代に譲渡することであると出ているが、高村氏はこの仕事をなし遂げた人の一人である。今日私達が考えねばならぬのは、昭和の初頭高村氏が打ちたてられた伝承の精神を、更に次の世代のため継承する努力を惜んではならないということである。高村氏の村誌一冊に国府村の伝承を止めることは、国府村民の怠惰である”――と。

ところが、国府村民は決して怠惰ではなかったのである。国府村の名は、後免町から南国市へと、大いなる発展の際に消えたが、国府地区の人々は、高村氏の伝承の精神を立派にうけつぎ、これを内外に発揚することとなった。それがこの新『国府村史』である。新村史は、国府村史編纂委員会編となっているが、その主なる著述が、国府出身の竹内英省氏によってなされていることは、村史をひもといてすぐわかるところである。まことに竹内氏が居なければ、この大事業はできなかったのであろう。実にその人を得たと云える。竹内氏は多年本県操觚界にあって、その健筆をうたわれた人。いまは高知市にあって、種々の公職についておられるが、郷土国府に深い愛情と関心を有する同氏によってこそ、はじめて本書の編纂と出版がなしとげられたのである。四六版五百六十余頁に及ぶ豪華大冊で、全く文字通りの労作であり、高知印刷株式会社の良識と卓抜の技術によって本県出版界としても出色のものとなっているのである。

私はこれを一読して、さきに書いて高村氏村誌への讃辞が、そのままぴったりとあてはまることを感じた。

（未完）

南国あちこち

最近、道にまつわる話がかずかずできた。穴内川ダム建設計画に伴う久礼田の直線県道計画、篠原へ四月起工する県立東工高の正面道路（市費百二十三万円で工事中、延長百八十㍍、幅六㍍）。

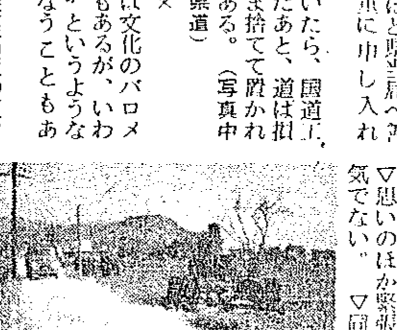
ところで市の生命線、県道後免―里改田線も三十四年から舗装工事にかかり、一部は写真（右）のように完成し、輸送効果を上げている。全線完成は三十八年度のようだ。

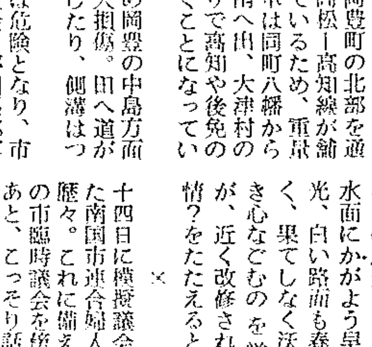
諸車の通行がふえたため、泣いているところもある。岡豊町の北部を通る国道高松―高知線が舗装されているため、重量のある車は同町八幡から県道で南へ出、大津村の領石通りで高知や後免の方へいくことになっている。

このため岡豊の中島方面の道は大損傷。田へ道がはみ出したり、側溝はつぶれる。通行人は危険となり、市農業委員会らが関係部落とともに問題だと取り上げ、このほど県当局へ善処方を厳重に申し入れた。だまっていたら、国道工事がすんだあと、道は損傷したまま捨てて置かれる心配もある。（写真中が問題の県道）

×

道の完備は文化のバロメーターでもあるが、いわば“風情”というようなものを失なうこともある。写真下は農業高校の東、野田を流れる舟入川支流ぞいの風景。水面にかがよう早春の陽光、白い路面も春めかしく、果てしなく沃野は続き心なごむのを覚えるが、近く改修され固い表情？をたたえるという。





×

十四日に模擬議会を開いた南国市連合婦人会のお歴々。これに備えて七日の市臨時議会を傍聴したあと、こっそり話し合っていた。市議諸公には耳が痛い話。▽思いのほか緊張した空気でない。▽同様にすっきりした運営ともいえない。▽議長が万事事務局長の書いたものを朗読していくのは感心しないな――など、など。

これを聞いたカゲの声“婦人連、思いのほかお目が高いねや”

×

ガンブームでとくに中学生たちがガンを手製。花火などを詰めて発砲？するのが流行しているようだ。父兄も先生も、警察も一丸になって防止に乗り出す必要がある。

衛生

（アルコール中毒症）

アルコール中毒患者は、最近次第にふえて、戦前の約二・五倍以上の数にのぼってきました。アルコール中毒症といえば普通慢性アルコール中毒を意味しますが、その範囲をきめることは、中々むつかしいことです。まず酒をのまずにおられないという人で、月給をみんな酒代に使ってしまう状態から、胃腸障害、肝臓障害、神経炎さらに精神症状をおこしたり、合併症をきたすものを加えると、かなり数が多くなってきます。アルコールを飲むと、おなかがすかなくなるので、栄養剤と思っている人がかなりありますが、のんだアルコール一割が肺と腎臓から、息や尿となって排出され、残りの九割は、体の中でもえて、皮膚の表面の血管を広げ、熱をうばうだけで、筋肉の働きのエネルギーとはなりません。酒を飲んで働くと、かえって体が疲れ、弱ってしまいます。麻酔薬の一種であるアルコールも、一日に日本酒で二合以内の量であると、左程体に害はない様です。中毒患者と普通の人がのんだアルコールの血中の濃さはかなり違っており、中毒初期では吸収が非常に早く、中毒が進んでくるにつれ吸収がおそくなり、酸化がおくれて、血液中に長くアルコールが残ることになって、いろいろと合併症を併ってきます。

酒に酔った場合、早く酔をさます方法について、熱いお茶や、柿がよいといわれていますが、それは両者に含まれている、ヴィタミンCや、柿の中にある果糖が、血中のアルコール濃度の上昇を抑えるためです、インシュリン葡萄糖、グルクロン酸、チオクタン、エフェドリン等の注射も使われます。またメチオニン、オロトン酸等の服用もある程度効果があります。酔った場合、クロルプロマジン（コントミン、ウインタミン等）もアルコールの興奮状態を鎮めるのに役立ちます。

最後に、酒が嫌いになる薬に、アンタビュース（ノツクビン）、シアナマイド等の薬がありますが、副作用があるので、必ず医師の示指のもとに治療すべきです。

要するに、酒はほどほどにのむべきもので、酒にのまれて中毒にならないようにしたいものです。

山本尚一

ヒヨコ
強健多産
春雛予約受付中
嶺南孵化場
南国市後免町・電話267
カタグロ進呈

お見合に・御婚礼に
山崎写真館
南国市後免中町
電話（南国）354

座談会 選挙よもやまばなし

青年と選挙

今年の成人式で祝福された若者達は、723人であった。これらの青年たちの殆んどは、昨年末の市長選で初めて選挙権を行使したものであるが、いままで数多く行われてきた選挙を若い人々はどのようにみ、どのように考えているか、その汚れを知らない人々の考えている理想の選挙とは、どのようなものか……。

成人式の感激の消えない、とある日、成人者を中心とした数名の青年たちに、〝成人となった抱負とか、公明選挙と青年の役割〟について話し合ってもらった。

投票所を明るく 立会に婦人を……

成人となりこれから選挙権を行使しますが、若者たちの立場から大人の気付かない点など、……大人となった抱負とか、とくに選挙に対する心構えについて、きたんない意見を発表して下さい。

まず、新らしく有権者となっての感想のようなものから。

▲十ケ月前に成人となり、いまさら成人式とはとピンとこなかった、しかし成人式に参加してこれだけの人達と成人になったかということで有意義づけられた。

▲成人式だから成人になったと、一足飛びには考えていないし、周囲の人も左程大人とはみとめていない。大人になったから酒も、タバコも自由だということでなくて、憲法にある権利とか、義務というものについて責任を重じる大人にならなくては、……

▲ようするに自由放慢でなく、責任を持ち誤りのない行動をとってゆきたい。

〃今度の市長選で、初めて投票された方があると思いますが、

▲最初の選挙として市長選に望みましたが、心に残るものがある。……候補者の政見を聞き確心のある、そして責任をもってる選挙でなければと思う。

▲初めて投票所の様子が分からず、友達をさそい一緒に行ってようやく投票を済ませたが、本当に恥ずかしかった。

▲投票所によると思うが、その部落のボスとか、有力者で相当年配の男ばかりが立会人になっている投票所があるが、なるべく婦人とか、若い人達を交えた親しみのあるなごやかな投票所の空気にしてもらいたい。

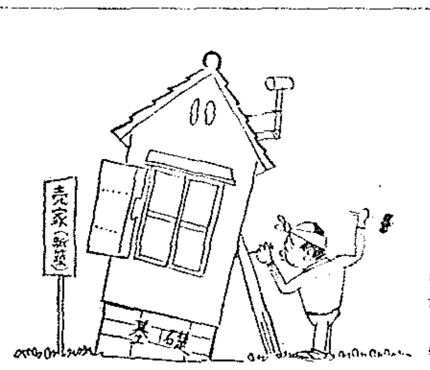
▲投票所の重苦しさ、しめぽさということで、初めての人でなくても、婦人とか若い人達はなんとなく入いりそびれるのではなかろうか、……

〃その点選管では気を配っている。しかし、立会人とか管理者は多少選挙の心得がいる。だから全部新らしい人にずることはできないが、なごやかな気分にするよう今後も努力したい。

▲むかしは入場券が配ばられていたが、最初のものは名簿に載っているかどうか迷って不安である。

▲そのために従覧期間があるから名簿を確認することが大切だが、いろいろの都合で名簿を閲覧する人は殆どないからネ……

〃入場券は法に定められたものではない。よい面もあるがいままで悪用された例が多いから止めている。



基礎（選挙）が狂えば、家（政治）も狂う。　森吉正

清よい選挙は若い者から

〃話しがはずんできましたが、いままでの選挙をどのように見てきたか、また公明選挙を行なうための青年の役割といったことについて。

▲投票しても、本人とのつながりが薄いから、公明選挙を叫んでも効果がない。親しみがないとか、その後の結果がはっきりしない。当選したらそれっきりで、選挙の効果が有権者に判断しにくい。

▲公明選挙はわれわれ若い者にはわかっているが、中年以上の者が曲者だ。青年は、買収とかいろんな工作にだまされないし違反はしないんだが、……

▲例えば、部落のボスとか顔役などの動向に、近所のみんなが一番注目しているし、それにより方向がきめられているのではなかろうか？

▲ある候補者からたのまれてのましたとか、もらったと金を抜きとってもうけたという話をよくきくし、またやっている人がいる。

▲選挙ブローカーもいけないが、あの会社は誰れ、あそこの地盤はだれそれとかいうことを、マスコミがつくっているのではなかろうか？

▲そうそう、とくに週刊新聞などは、いろんな方向に向けているネ。

▲週刊紙は別だが、逆に一面選挙熱をあおるということもマスコミの持つ役割であるから、やはりそのようなことのないよう有権者が考えてゆけばよい。

▲投票紙に下劣なマンガや歌などが書かれているが、どうしてそのようなものを書くか、しかもわざわざ投票所にきて書くのだから気が知れない。どんな考えで書いているのだろうか……

▲公明選挙はごもっともだが、相手がやるからこちらもやる。それがあたり前だという考え方が候補者にあるのではないか、……

▲いままで選挙をやったことのない若い者だけに選挙をさせたら、きれいな選挙ができるだろうネ。

▲いまの若い者が中年になったころは、多分変ってくるヨ……

▲いまの純粋な気持ちをいつまでも持ちつづけてゆけばネ……

国は、政党 地方は人物

〃選挙をするについて政党と、人物のいずれを重くみますか

▲まず政党ですネ、その上で人物をみます。しかし、市の選挙であれば、人物本位ですネ。

▲同感です。国会などは政党でなければなんにもなりませんし、地方では政党政治は通用しませんからネ。

▲これからの公明選挙は青年が中心となり、投票だけで終らないよう何時も有権者が当選者を監視しているんだという、意欲ある選挙でありたい。

▲よい人を選ぶことは、よい政治のできるもとであるから、自分の意志をはっきりもつべきだ。

▲夫婦で考えの違う場合もあっても、強制しないことだ、とくに女性は自分の意志をもつべきです。

▲選挙に対する夫婦の考えが相違する場合、家庭がこわされはしないか。

▲結論づけなければよいではないか、親子でも違っている時代ですからネ……

見合よりも恋愛で

〃それでは終りにみなさん方の結婚観は……

▲見合でも、恋愛でも親が認めてくれている。そして、経済的な困難さもともに切り抜けてゆく人であり、周囲から祝福される結婚でありたい。といっても恋は盲目というから、恋愛に走るかも知れないが。

▲いつまでも信頼し、話合いができることで、親の意志でなく、自分で見出した恋愛の方がよい。……結婚の方法も青年の意志でやってゆきたいものだ。

▲恋愛と見合では、やはり盲目でない恋愛がよい。真面目に計画的に生活を考え、地位や、名誉でなく幸福な家庭を作りたい。

▲おしつけられた結婚でなく、結婚式でも親の結婚式かと思われるようなことでなく、本人の意志を尊重してやってもらいたい。

〃それではこの辺で

統合堰と茂久川（4）

南海虚子

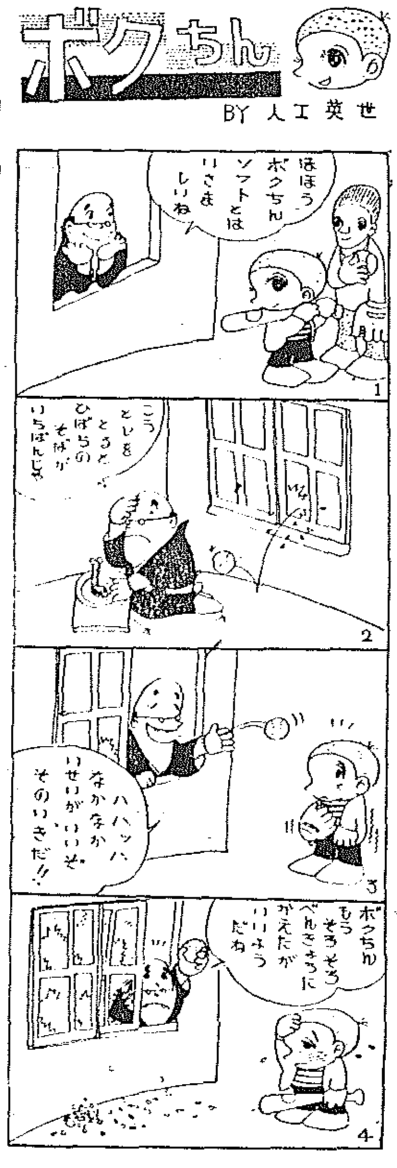
◇茂久川新水系他の切替作業は簡単だ。既ち舟入と絶縁して首を北に向けた茂久川と、間近く流下してくる中井とを、松本部落の東北頭で水路のカーブの姿勢に相呼応して結びつけるまでのことである。勿論中井も茂久川も、舟入に代る新機能に応じて充分取水量を確保する手当が伴うべきだ。この切替作業によって茂久川の水位は一段と高姿勢となる。従って平野西半への睨みがきくことによって水理の基本が一新され、平野各所の用排水に係る他日の土地改良や生産構造組替えの自由さが得られよう。さて茂久川下流部での新水系構造は別述することとし、まず舟入旧水系の切替作業に移ってみよう。

◇舟入水系の茂久川水系化には金地井、竹黒川、新川の三幹流が中心となるが、中井に連結された新茂久川がやがて松本部落の東北頭に流下してきたとき、別に短距離の水路を開いて南方へ分派し、これを舟入の北カーブの頭に落して南流せしめる。舟入はここから東方の徳松井口までは用済み埋立となる。かくて松本以西の旧舟入水系は茂久川系となるわけであるが、前述の茂久川の南下分流は松本部落の東南面カーブ附近で適当な三流路に分岐し、夫々金地井、竹黒川、新川の並走する新幹流の整形し、前記三幹流の旧水路頭に連結したい。この三幹流は導入水位の高まることによって流速を増し、旧水量をオーバーするであろう。従って新装新川に更生される後免までの旧舟入は、その半ばを道路の拡幅に充て得ることにより、後免談議所間の南面新交通路として沿線の便益と発展とに役立つであろう。さて金地井は大体無難であるが、新川改造は後免町の項に譲り、竹黒川改造の緊要さを訴えたい。

◇竹黒川の大欠陥とこれが改修方法を述べよう。潴溜域の広い本水路の、下野田までが既に低河床の憾みさえあるのに、ここで一層低位な自然流跡の旧水路に落としこんだのは大過誤であった。これがため後世の用排水両面に災害を遺す因となった。この自然低流は物部川の初期主流の遺跡であって、国道南方の東西両翼に壮大な自然堤防の地形を馳せ、この間に挟まれた広い河跡の底を南に向い、部分称を古川や中州川と呼ばれ、更に関部落や片山の胴中を割って南下し、協和農機の北方近くで県道を横切って西に曲り、長泉川や下田川となって流れ去っていた。その多くの支流分流は古代以来水稲耕作に利用され、無秩序な開拓の積み重ねにできた不合理な各所の水利構造でありながらも、豊富な水に恵まれて不便は感じなかった。それが昔のままの姿で、水量の規制された舟入の竹黒川水利に急転のため流態の調子が狂い、かつ危弱な山田堰とこの竹黒川とに死命を賭けることになった。これがため野田口部落の東側に接して南流する大埇諸用水幹流えの取水工作に専念することを迫まられ、竹黒川を落しこんだ旧本流に対し、野田口東北頭で厳重な工作を施したので旧本流は殆ど流れを失った。これに跨る鉄道橋脚は相当な通水幅を有たせてはあるが、忽ち泥土を捲くので今は廃川同様となった。雨期短時の豪雨で国道の北面は一帯の泥海となるばかりでなく、大埇諸井筋も溢れながら野面を押流れていく。水利構造の現状のままでは、用排水離共に救われないであろう。しかしこれが解消と能率の向上とは短距離の水路改造で可能と考える。即ち竹黒川の落し口から野田口までの旧本流は専ら本来の排水路に復し、同時に竹黒川は独立した高姿勢の用水路に取直すまでのことである。幸にしてこの用排水両機能の分離作業は既存の水路が待ちわびている。かくすれば城陸や西の窪方面はもとより、大埇諸井の能率向上が顕著となるばかりでなく、三和地帯用水も好影響を受けよう。ではその方法に移ろう。

◇竹黒用水路の新構造であるが、竹黒川が下野田で旧本流に落されて西流し始めて間もなく、長い中堤で川を割って、本支並走する用水路が形成されている。石堰の分水というのがこれだ。石堰から西流して間もなく上段を南に曲り、城陸方面や野田口方面やと西南地帯へ送水されている。用排水の分離を待ちわびているといったのはこの水路のことだ。この水路は更に分岐して旧本流を東側に見下しながら直南下し、野田口部落のすぐ裏手まで伸んできている。この一連の水路を竹黒新幹流に改修の上、緩カーブで東側に数間を切落すなら大埇諸井の現幹流頭になだれこむ。一方下野田石堰では、河中の中堤を僅か延長するだけで竹黒川尻と連結され、ここに独立高性能の用水路が形成される。用水路全線は姿勢や匂配その他整形拡幅すべきはいうまでもない。また旧本流も整理修復して本来の排水機能を復帰せしめ、国道以南の県営事業へ移行さすべきだ。また万一の渇水危機を案じるなら、石堰上流部附近へ補水施設も考えられようが恐らく無用であろう。竹黒川用水は別考もあるが省略し、次号で新川茂久川に係る後免町特編を批判に供したい。

（未完）



お誂紳士服は
西田洋服店へ　南国 電話443

編集後記

▽一月もまたたくまに過ぎて二月をむかえた。広報の割付紙の白さをじっくりみつめつつ、急そいで埋めたててゆくのも苦労の種子だ。

▽よいも悪いも編集子の腕次第とはわかっていても、文の長いのには大弱りだ。また原稿のあつまりのおそいのも頭痛もの。

▽青年との座談会で若い気風に触れてみたのもたのしいものだった。

▽次号から、農業改良普及所の肝入りで、篤農家を囲み、農業経営などについて語り合うことになっている

▽紙面の都合で、市民の声を二面にくり上げた。毎号あちらこちらに動ごかすのは愚の骨頂とは、わかっているものの、いたしかたないときもある。

▽広報を早く、と気をもんでいるもののおそくなる。三月号はいまからかからねばと胸にいたむ。

▽市内の話題とか、事業所をたずねて取材をします。ご希望の点などお知らせ下さい。第一回は白木谷鉱山をみました。

◎お知らせ◎

36年度分確定申告と
第３期分所得税の納期は
３月１５日
申告と納税は早目に
高知税務署

御入学・御進学に
ランドセル・鞄
テイジンテトロン学生服
百貨の 冨士屋
後免西町　電話２４８